

原発なくせ抗議行動ニュース

原発ゼロを求めるイレブン
アクション岡山実行委員会

NO. 35
2013.05.17

ブログ：<http://b.kenro.jp/> 連絡先：okakenro@mx1.tiki.ne.jp

電話：086-221-0133

fax：086-221-3595

敦賀原発直下に活断層 2号機廃炉不可避

日本原子力発電敦賀原発（福井県）の敷地内断層を調べた原子力規制委員会が、2号機の直下に「活断層がある」とする報告書の原案をまとめたことが14日わかった。

活断層と判断された場合、2号機の運転再開は極めて困難となり、原電は廃炉を避けられない状況となる。経営危機に陥る恐れがあり、原電に出資する大手電力各社にも影響する可能性がある。国は活断層上に重要施設の設置を認めていない。（5/15山陽）

もんじゅ停止命令へ

原子力規制委員会は近く、日本原子力研究開発機構に対し、原子炉等規制法に基づき、高速増殖型炉「もんじゅ」の使用停止を命じる方針を固めた。内規に違反し、1万個近い機器の点検を怠っていた問題を重く見た。期限はつけず、安全管理体制を全面的に見直すまで運転再開は認めない。「もんじゅ」はプルトニウムとウランを燃料に、生成された核物質が1.0を上回る炉で、減速材に水ではなくナトリウムを使う。（5/13朝日）

原発再稼働 明記へ 自民党政策集 参院選にらむ

自民党は参院選公約のもとになる総合政策集で、原発再稼働を明記する方針を固めた。昨年の衆院選では「3年以内結論をめざす」としていたが、原発の安全確認を前提に再稼働を容認する安倍政権の姿勢に合わせた。参議院選公約検討委員会は22日までに総合政策集をまとめる。政策集では「国が責任をもって再稼働させる」と明記する。（5/12朝日）

大飯断層評価「3連動想定を」 規制委員会 関電に要求

原子力規制委員会は10日、国内で唯一稼働中の関西電力大飯原発3、4号機（福井県）が新しい規制基準を満たしているのかの確認作業で、周辺の3つの活断層が一緒に動いて地震を起こした場合の耐震安全性を調べるように関電に求めた。規制委員会が指摘したのは、海側にある2つの活断層と、陸側にある3つの活断層。規制委員会の島崎邦彦委員長代理は「万が一ではなく、3連動ありきで議論して欲しい」と厳しい条件で調べるよう要求した。（5/11朝日）